

保証書 (持込修理)

本書は、本書記載内容(下記規定)で、無料修理を行うことを、お約束するものです。

保証期間中に、正常なご使用状態で、故障が発生した場合には、本書をご提示のうえ、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。

品 番 **BSG-1 Basic**

S/No.

お買い上げ日		年 月 日	
		お買い上げ年月日の記載がない場合、無料修理規定外となります。	
保証期間		対象部分 機器本体(消耗部品は除く) お買い上げの日から1年	
お名前	お名前	様	
ご住所	〒	TEL ()	
販売店	店名・住所	上欄に記入または捺印のない場合は、必ず販売店様発行の領収書など、お買い上げの年月日、店名等を証明するものをお貼りください。	

<無料修理規定>

- 本書記載の保証期間内に、取扱説明書等の注意書に従った正常なご使用状態で故障した場合には、無料修理いたします。
- 保証期間内に故障して無料修理を受ける場合には、機器本機及び本書をご持参、ご提示のうえ、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。
- ご転居ご贈答品などで本保証書に記入してあるお買い上げの販売店に修理をご依頼できない場合には、お客様ご相談センターへご相談ください。
- 保証期間内でも次の場合には有料修理になります。
 - (イ) 使用上の誤り、または不当な修理や改造による故障及び損傷
 - (ロ) お買い上げ後の移動、落下等による故障及び損傷
 - (ハ) 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害、塩害、指定外の使用電源(電圧、周波数)や異常電圧による故障及び損傷
 - (ニ) 特殊な条件下等、通常以外の使用による故障及び損傷
 - (ホ) 故障の原因が本製品以外にある場合
 - (ヘ) 本書のご提示がない場合
 - (ト) 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合
 - (チ) 付属品や消耗品等の消耗による交換
- 本書は、日本国内においてのみ有効です。
This warranty is valid only in Japan.

故障内容記入欄

※ 本書を紛失しないよう大切に保管してください。
※ この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店または、お客様ご相談センターにお問い合わせください。

株式会社ユピテル

〒108-0075 東京都港区港南1-6-31

6SS1930-A

BSG-1 Basic

取扱説明書



このたびは、ユピテルの製品をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。

本機は、野球やサッカー、テニスなどの球速や野球やソフトボールのバットスイング速度を表示することができます。

おすすめピックアップ

すぐに使う

P.18

- ご購入後、初期値のまま使用する場合に参照ください。

ピッチングモード

P.20

- 球の初速度、終速度、区間を表示します。

確認とご注意

安全上のご注意 4

使用上のご注意 8

1. 角度による速度検出の影響... 10

本機機能について 11

1. 検出モードの選択 11

2. microSD カードスロット搭載... 11

基礎知識

各部の名称と働き 12

1. 付属品 13

2. 別売品 13

3. 付属品・別売品の追加購入
について 13

電源について 14

1. 電池交換（取り付け） 14

2. AC アダプターから
電源供給する場合 16

アイコン表示について 17

すぐに使う

電源 ON ~ OFF までの手順... 18

1. 電源 ON 18

2. 検出モードの選択 19

3. ピッチングモード 20

4. バッティングモード 22

5. 電源 OFF 24

バッティングモード P.22

- バットスイング速度、打球の初速度、打球の推定飛距離を表示します。

故障かな？と思ったら P.35

- 電源が入らない、検出結果の数値にばらつきがあるなど…

カスタマイズして使う

各種設定のしかた …… 25

1. 設定メニューを表示
・ 各種設定方法 …… 25

ピッチングモードの設定メニュー… 27

バッティングモードの設定メニュー… 29

システム設定メニュー… 31

1. システム設定メニューを表示・各種設定方法 …… 32

記録結果の管理 …… 33

1. microSD カードの使用について …… 33
2. microSD カードの装着 / 取り外し …… 33

その他

故障かな？と思ったら… 35

仕様 …… 36

アフターサービス …… 38

保証書 ……裏表紙

安全上のご注意

ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。ここに記載された注意事項は、製品を正しくお使いいただき、使用するかたへの危害や損害を未然に防止するためのものです。安全に関する重大な内容ですので、必ず守ってください。

- 危害や損害の大きさを明確にするために、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を次の表示で区分し、説明しています。

- ⚠ **危険**：「死亡または重傷を負う恐れが大きい」内容です。
- ⚠ **警告**：「死亡または重傷を負う恐れがある」内容です。
- ⚠ **注意**：「軽傷を負うことや物的損害が発生する恐れがある」内容です。

絵表示について

- ❗ 必ず実行していただく「強制」内容です。
- 🚫 してはいけない「禁止」内容です。
- ⚠ 気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。
- 🔗 関連するページを示します。

● 安全上お守りいただきたいこと

⚠ 警告

- ❗ **異常・故障・破損時はすぐに使用を中止してください。**

そのまま使用すると、火災や発火、感電の恐れがあります。

＜異常な状態の例＞

- ・ 内部に異物が入った
- ・ 水に浸かった
- ・ 煙が出ている
- ・ 変な臭いがする

すぐに使用を中止し、電源コードを外して、お買い上げの販売店またはお客様ご相談センターにお問い合わせください。

🔗 P.51「アフターサービス」

- ❗ **心臓ペースメーカー等の医療機器をご使用のお客様は、医療用機器への影響を医療用電気機器製造業者や担当医師にご確認ください。**

- ❗ **持病をお持ちの方や妊娠の可能性のある、もしくは妊娠されている方は、本機を使用される前に医師にご相談ください。**

- ❗ 水につけたり、かけたりしないでください。また、濡れた手で操作しないでください。

故障の原因になります。

防塵・防雨形設計 (IP53 準拠) ですが、完全防水ではありません。

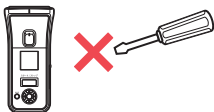
- ❗ 交通量の多い場所や車道では使用しないでください。

事故の原因となり、大変危険です。

- ❗ 周囲の状況に十分注意を払い、移動する物体から安全な距離を確保してください。

- ❗ サービスマン以外の方は、絶対に機器本体および付属品を分解したり、修理しないでください。

感電や故障の原因となります。内部点検や調整、修理は販売店にご依頼ください。



- ❗ 本機を次のような場所に保管しないでください。

変色したり、変形したり、故障の原因となります。

- ・直射日光が当たる場所や暖房器具の近くなど、温度が非常に高い所
- ・湿気やほこり、油煙の多い所
- ・ダッシュボードや炎天下で窓を閉め切った自動車内

- ❗ 穴やすき間にピンや針金等の金属を入れないでください。

感電や故障の原因となります。



- ❗ 本機を火の中、電子レンジ、オーブンや高压容器に入れないでください。また、本機を加熱したりしないでください。

破裂、発火や火傷の原因となります。

- ❗ 病院内や航空機内など、使用が禁止されている場所では使用しないでください。

電子機器などが誤作動する恐れがあり、重大な事故の原因となります。

⚠ 注意

- ❗ 重いものをのせたり、本機の上に乘らないでください。

ケガや破裂、故障の原因となります。

- ❗ バットや棒のようなものでボタン操作を行わないでください。

破損、故障の原因となります。

❌ 濡れた手で操作しないでください。
感電の原因となります。



❌ 各端子に異物が入らないように、取り扱いにご注意ください。
故障の原因となります。

❌ 落としたり、強いショックを与えないでください。
破損、故障の原因となります。

❌ 他の無線機やテレビ、ラジオ、パソコンなどの近くで使用すると、影響を与えたり、受けたりすることがあります。

❌ 結露したまま使い続けないでください。

故障や発熱などの原因となります。
(気温の低いところから高いところへ移動すると、本機内に結露が生じることがあります。)

❌ 極端な高温、低温は避け、動作温度範囲 $-5^{\circ}\text{C} \sim +50^{\circ}\text{C}$ でご使用ください。

❌ 圧力をかけないでください。
多くのものが詰まった荷物の中やかばんの底に入れると、外装や液晶表示部、内部基板などの破損、故障の原因となります。

⚠ 本機は精密機械です。

静電気 / 電氣的ノイズ等でデータが消えることがあります。データが消えると作動しません。

● 本機のお手入れについて

⚠ 注意

❌ ベンジンやシンナー等の揮発性の薬品を使用して拭かないでください。
塗装面を傷めます。



❌ 本機の外装を清掃する場合は水や溶剤は使わずに、乾いた柔らかい布で行ってください。
内部に異物が入った場合は使用を中止し、お買い上げいただいた販売店にご相談ください。

● SD カードについて

⚠ 警告

- ⚠ SD カードの出し入れは、本機の電源 ON になっていないことを確認して行ってください。

OFF



- ⚠ SD カードは一方向にしか入りません。挿入方向をよくお確かめの上、挿入してください。

無理に押し込むと、本気が壊れることがあります。

使用上のご注意

- 電池残量が少ないと、使用中で電源 OFF になり、使用できなくなる場合があります。

- ・ 自然災害や火災、その他の事故、お客様の故意または過失、製品の改造等によって生じた損害に関して、当社は一切の責任を負いません。
- ・ 説明書に記載の使用方法およびその他の遵守すべき事項が守られないことで生じた損害に関し、当社は一切の責任を負いません。
- ・ 本機の仕様および外観、アイコン、表示名、表示の内容は、実際と異なったり、改良のため予告なしに変更する場合があります。

■ 表示部に関する注意

- ・ 表示部を強く押したり、爪やボールペンなどの尖ったもので操作をしないでください。表示部の故障や破損でケガの原因となります。
- ・ 表示部を金属などで擦ったり引っ掻いたりしないでください。表示部の故障や破損でケガの原因となります。
- ・ サングラスを使用時、偏光特性により、表示が見えなくなってしまうことがあります。あらかじめご了承ください。
- ・ 周囲の温度が極端に高温になると表示部が黒くなる場合があります。これは液晶ディスプレイの特性であり故障ではありません。周囲の温度が動作温度範囲内になると、元の状態に戻ります。
- ・ 液晶パネルは非常に精密度の高い技術で作られており、99.99%以上の有効画素がありますが、0.01%の画素欠けや常時点灯する画素があります。あらかじめご了承ください。

■ 取り扱いに関する注意

- ・ ご使用にならない場合は、電池を外してください。電池が過放電状態に電池寿命を縮めることになります。
- ・ 指定された電池以外は使用しないでください。故障の原因になります。
- ・ 本機が汚れたときは、柔らかい布で拭いてください。ポリエステルなど静電気が起きやすいもの、またベンジンやシンナー、化学ぞうきん、洗剤は使用しないでください。

ご注意 電波法について

本機は電波法の工事設計認証を受けた無線設備を内蔵した商品です。安心してご使用になれますが、下記事項にご注意ください。

- 本体裏面の技術基準適合証明ラベルをはがさないでください。はがして使用すると、電波法により罰せられることがあります。
- 海外では使用しないでください。
- 分解したり改造することは、電波法で禁止されています。改造して使用した場合は、電波法より罰せられることがあります。

- ・速度表示させたい移動物に合わせ、使用する検出モード（ピッチング／バッティング）を選択し、正しく設置してご使用ください。
- ・本機で表示される速度は、実際とは異なることがあります。
- ・本体センサー部の前に金網など遮蔽物がある場合、検出できる距離が短くなります。
- ・近距離で本体を複数台使用すると、本体どうしが干渉して正しく検出できないことがあります。
- ・移動する物体の軌道に対して、真横から速度を検出することはできません。
- ・速度を正しく表示させるために、移動する物体の軌道に対して、本体の角度が小さくなる位置（推奨：10度以内）でご使用ください。
- ・ピッチング／バッティングの使用において、角度がある場合は、正しく補正を行ってください。（● P.28、30）
- ・移動する物体の軌道に対し、本体を使用する位置の角度が小さいほど、より正確な速度を検出することができます。（角度は、上下左右ともに速度の検出に影響を及ぼします。）

1. 角度による速度検出の影響

※市販品のカメラ用三脚を使用した設置例です。

図1

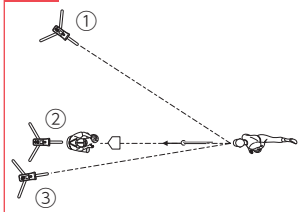
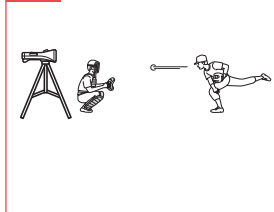


図2



① 角度が大きい

検出できないことや精度が大きく低下します。

② 角度：0°

図2のように、捕手や遮蔽物の陰にならない条件では、より正確な速度検出が可能です。

③ 角度が小さい

斜め方向補正 (P.28、30) を行うことができます。

■ 角度と速度表示との関係

移動物の軌道に対し、本体を使用する位置に角度があると、速度は遅く表示されます。

例：実際の速度が 100km/h のとき、本体を使用する角度が 10 度ある場合、速度表示の値は、98km/h となります。

実際の速度	移動物との角度	速度表示の値
100km/h	0 度	100km/h
	10 度	98km/h
	20 度	94km/h
	30 度	87km/h

本機機能について

1. 検出モードの選択

2 種類のモードから使用用途に合わせた速度検出が可能です。

検出モード	使用例	表示内容
ピッチング (P.20)	野球やソフトボール、サッカー、テニス、バレーボール、ハンドボールなどの球技	・ボールの初速度 ・ボールの終速度 ・初速終速間距離
バッティング (P.22)	野球やソフトボールのバッティング	・バットスイング速度 ・打球の初速度 ・打球の推定飛距離

2. microSD カードスロット搭載

本体に記録した結果を市販品の microSD カードに保存することができます。保存した結果は、本体や MST-1 データ管理ソフトをインストールしたパソコンで確認することができます。

- ・MST-1 データ管理ソフト(フリーウェア)やご利用方法などの詳細は、弊社ホームページをご確認ください。
<https://www.yupiteru.co.jp/>

※microSD カードは、別途ご購入ください。

※microSD カードとの相性による動作の不具合については、保証いたしかねます。

※本機は、4GB 以上、32GB 以下の microSDHC カードに対応しています。(SD スピードクラス Class 10 以上)

各部の名称と働き

■ 本体

正面

液晶画面

速度の検出結果やバッテリー残量などを表示します。

スタート/ストップボタン

動作の開始 / 終了するときに使用します。

電源ボタン

電源を ON/OFF するときに使用します。

センサー部

この面を移動する物体の方向に向けます。

端子カバー(側面)

操作ボタン

背面

技術基準適合ラベル

ラベルをはがさないでください。はがして使用すると電波法により罰せられることがあります。

三脚取付用ネジ穴

市販のカメラ用三脚を取り付けることができます。

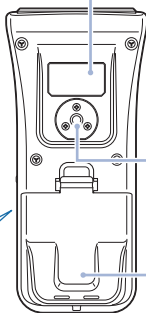
電池カバー

microSDカード挿入口
市販品の microSD カードを挿入します。(●P.34)

miniUSB端子

別売品の AC アダプターを接続します。(●P.16)

端子カバー内



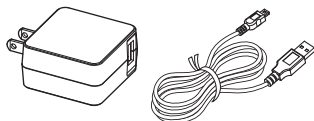
1. 付属品

ご使用前に付属品をお確かめください。

- 収納ケース 1
- 単 3 形アルカリ乾電池 4
- 取扱説明書・保証書(本書) 1

2. 別売品

- AC アダプター OP-ADP10 : 3,300 円
 - ACアダプター1
 - 接続ケーブル1



3. 付属品・別売品の追加購入について

- ・ 付属品や別売品などを追加購入される際は、機種名とともに「XX(機種名)用 ○○(必要な部品)」で、製品購入店やお近くの弊社取扱店にご注文ください。
- ・ 当社ホームページでご購入頂けるものもございます。詳しくは、下記ホームページをご確認ください。

✧Yupiteru スペアパーツ ダイレクト
<https://spareparts.yupiteru.co.jp/>

電源について

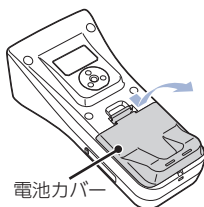
乾電池の他に、別売品のACアダプター(OP-ADP10)を接続して電源供給できます。

1. 電池交換 (取り付け)

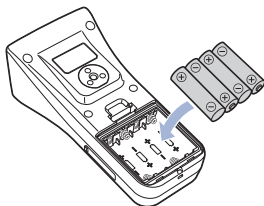
⚠ 注意

- ・ 単 3 形アルカリ乾電池以外は使用しないでください。
- ・ 交換するときは、必ず 4 本とも取り替えてください。
- ・ 長期間ご使用にならない場合は、乾電池を外して保管してください。

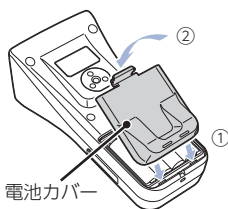
1-1 電池カバーを外す



1-2 ⊕と⊖の向きを間違えないように、新しい乾電池をセットする



1-3 電池カバーを閉じる



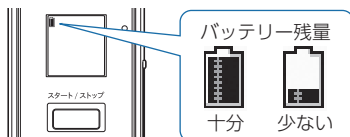
■ 電池寿命の目安

単 3 アルカリ乾電池 4 本で 1 日 1 時間の使用で約 20 日間（連続約 20 時間）使用できます。

- ・使用する条件によって異なります。
- ・付属品の乾電池は、お試し用です。記載された電池寿命より短い時間で切れることがあります。

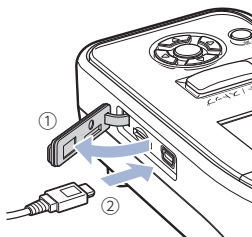
バッテリー残量表示

液晶画面のバッテリー残量表示が  「少ない」 になったときは、お早めに新しい電池と交換してください。

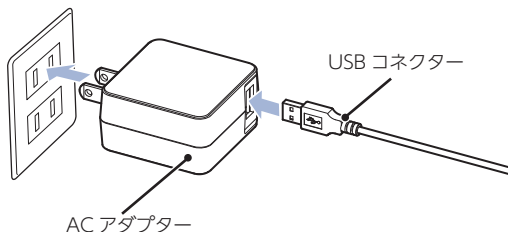


2. AC アダプターから電源供給する場合

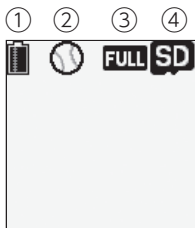
2-1 端子のキャップを開き、USB 接続ケーブルのコネクターを差し込む



2-2 AC アダプターを AC100V コンセントに差し込み、USB コネクターを AC アダプターに差し込む



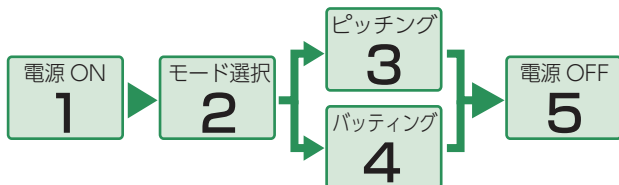
アイコン表示について



		アイコン	説明
①	バッテリー残量表示		電池で使用しているときに、電池の残量を2段階で表示します。(👉 P.15)
②	モードなどの表示		ピッチングモード選択時に表示します。(👉 P.20)
			バッティングモード選択時に表示します。(👉 P.22)
			速度を検出中に表示します。
			システム設定モード選択時に表示します。(👉 P.32)
③	本機内部の記録状態		本体の記録容量がいっぱいになると表示します。
④	SD カード表示		本体に microSD カードを装着しているときに表示します。
			microSD カードの記録容量がいっぱいになると表示します。

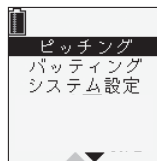
電源 ON ～ OFF までの手順

ご購入後、初期値のまま使う場合、下記の手順に沿って操作を行います。



1. 電源 ON

1-1 電源ボタンを約 2 秒間長押しする



<メインメニュー画面>

電源 ON になり、メインメニュー画面を表示します。

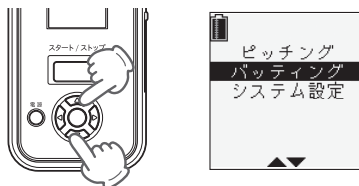
※速度表示など、前回使用した画面を表示している場合は、 (左ボタン) を押すと、「メインメニュー画面」を表示します。

2. 検出モードの選択

使用用途に合わせて、検出モード（ピッチング/バッティング）を選択してください。

※液晶の画面を見ながら、ボタン操作で行います。

2-1 （上下ボタン）を押して、モードを選択する



選択項目が反転表示されます。

2-2 ○（セットボタン）を押して決定する



・前の手順に戻る場合は
（左ボタン）を押してください。

 選択したモードの画面になります。

ピッチングモードの場合は…

➡ P.20「ピッチングモード」へ進んでください。

バッティングモードの場合は…

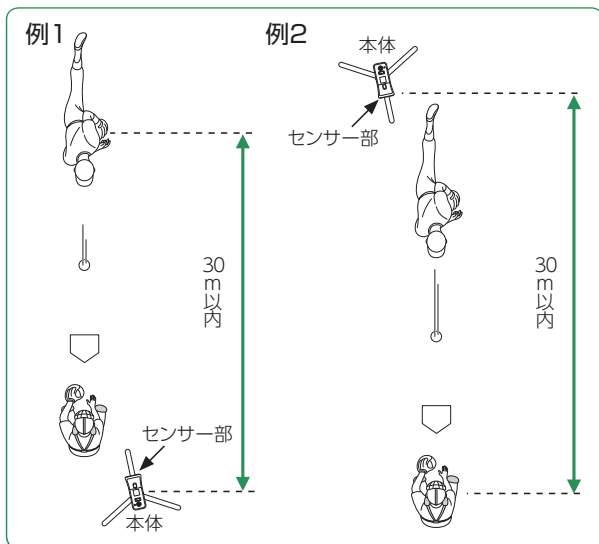
➡ P.22「バッティングモード」へ進んでください。

3. ピッチングモード

ピッチングモードでは、野球やソフトボール、サッカー、テニス、バレーボール、ハンドボールなど、球の初速度と終速度、区間を表示します。

- ・区間の表示は、初速度と終速度を検出した距離感です。
- ・以下の説明は、野球やソフトボールの投球をイメージした内容です。

■ 設置場所について



- ・上図のように、捕手の斜め後方、または投手の斜め後方に本体を設置します。(安定した検出を行うために、机などの台やカメラ用三脚を使用した設置をおすすめします。)
- ・捕手や投手の陰になる場所に設置すると、検出できないことがあります。
- ・投手または捕手から本体の距離は、約 30m 以内に設置してください。(ボールの大きさや材質などにより、検出できる距離は異なります。)

- ・終速度をより正確に検出させたい場合は、投手の斜め後方に設置することにより、捕手（ボールの最終地点）が見通せるため有効になります。
- ・ケガや事故の原因とならぬよう、移動する物体や周囲の状況に十分ご注意ください。

■ 使用方法

3-1 スタート / ストップボタンを押す



・検出方法の詳細は・・・

➡ P.27「1 回 / 連続」

投球が行われるたびに、検出した速度を点滅表示します。（初期値：連続）

※検出後、速度表示が点滅から点灯に変わり、検出結果が更新されたことをお知らせします。

※検出を終了させる場合は、スタート / ストップボタンを押してください。

すぐに使う

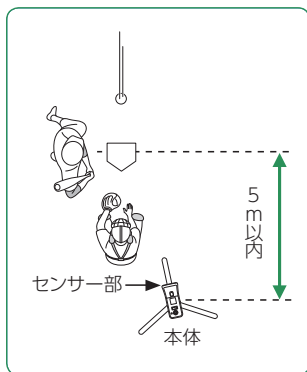
- ・初速は、最初に移動物として検出した球速を表示します。
 - ・終速は、移動物として検出できなくなった直前の球速を表示します。
 - ・区間は、初速度と終速度を検出した距離間を表示します。
 - ・速度表示の点滅時間（初期値：3 秒）は、変更することができます。（➡ P.31 「システム設定メニュー」）
 - ・検出結果は、記録ナンバーとともに本体に 200 件まで記録されます。
 - ・電池を取り外したり、電池が消耗しても検出結果の記録は消去されません。
 - ・本体に記録された検出結果を microSD カードに保存することができます。（➡ P.27 「記録保存（SD）」）
- ※速度を検出した区間が短い場合など、瞬間の速度しか検出できないときは、「0」や「---」で区間表示をすることがあります。

➡ P.24「電源 OFF」へ進んでください。

4. バッティングモード

バッティングモードでは、野球やソフトボールにおけるバットスイング速度、打球の初速度、打球の推定飛距離を表示します。

■ 設置場所について



- ・上図のように、本体を捕手の斜め後方（打者の反対側）からバットスイング位置に向けて設置します。（安定した検出を行うために、机などの台やカメラ用三脚を使用した設置をおすすめします。）
- ・捕手の陰になる場所に設置すると、検出できないことがあります。
- ・打者から本体の距離は、約 5m 以内に設置してください。（バットやボールの大きさ・材質などにより、検出できる距離は異なります。）
- ・投球・打球が使用する人や本体に当たらぬよう、設置場所や周囲の状況に十分ご注意ください。

■ 使用方法

4-1 スタート / ストップボタンを押す



・検出方法の詳細は・・・

➡ P.29「1 回 / 連続」

打撃動作が行われるたびに、検出した速度を表示します。(初期値：連続)

※検出後、速度表示が点滅から点灯に変わり、検出結果が更新されたことをお知らせします。

※検出を終了させる場合は、スタート / ストップボタンを押してください。

- ・打者の動作条件により、検出結果の表示内容が次のように異なります。

打者の動作	表示内容
・球を打ち返したとき ・ノックをしたとき	バットスイング速度 (バット)、 打球の初速度 (打球)、打球の 推定飛距離 (飛距離)
・球を空振りしたとき ・素振りしたとき	バットスイング速度 (バット)

- ・バットの場合、ゴルフクラブのような電波を反射しやすい大型の突起部分がないため、検知 (反射) 部位を一定させることが困難となります。一定のスイングであっても、検知ごとに数値が異なることがあります。
- ・飛距離表示は、「打球の角度：45 度」、「打点の高さ：1m」の条件で、打球の速度から目安とする飛距離を算出します。
- ・検出結果は、記録ナンバーとともに本体に 200 件まで記録されます。
- ・電池を取り外したり、電池が消耗しても記録は消去されません。
- ・本体に記録された検出結果を microSD カードに保存するこ

とができます。(● P.29「記録保存 (SD)」)

※ゴロやポップフライなどの打球は、正しく飛距離表示できません。

※センター方向への打球を基準にしています。一塁方向や三塁方向への打球は、誤差が大きくなったり、表示できない場合があります。

5. 電源 OFF

5-1 電源ボタンを約 2 秒間長押しする



電源 OFF になり、画面が消灯します。

各種設定のしかた

各モードの設定メニューより、検出方法などの各種設定を行うことができます。

- ・液晶の画面を見ながら、ボタン操作で行います。
- ・スタート/ストップボタンを押すと、設定メニューが解除され検出開始状態になります。
- ・検出中は、設定メニューを表示させることはできません。

1. 設定メニューを表示・各種設定方法

例：ピッチングモードでの検出方法を「1 回」に設定する場合

1-1 ピッチングモードを表示する

☛ P.19「検出モードの選択」を参照ください。

- ・前の手順に戻る場合は
⏮ (左ボタン) を押してください。

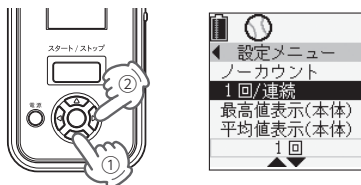
1-2 ⏭ (右ボタン) を押す



設定メニューを表示します。

1-3

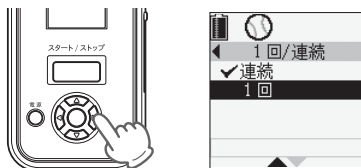
⏏ (下ボタン) を押して「1 回 / 連続」を選択し、⏏ (右ボタン) を押す



設定内容の画面を表示します。

1-4

⏏ (下ボタン) を押して「1 回」を選択し、○ (セットボタン) を押す



ピッチングモードの設定メニュー

- ・設定メニューの表示は  P.25 「設定メニューを表示・各種設定方法」を参照ください。

設定メニュー

ノーカウント

「実行」を選択すると、最新の検出結果を消去します。検出結果を記録したくない場合にご使用ください。

1 回 / 連続

検出方法を選択することができます。(初期値：連続)

1 回	スタート/ストップを押し(検出開始)、1 回の速度表示を行って検出を終了します。
連続	スタート/ストップを押し(検出開始)、再度、スタート/ストップボタンを押すまで、速度検出を行います。

最高値表示(本体)

本体に記録されている初速、終速、区間の最高値を表示します。

平均値表示(本体)

本体に記録されている初速、終速、区間の平均値を表示します。

記録表示(本体)

本体に記録されている検出結果を記録ナンバーとともに表示します。

※   (上下ボタン) を押して、記録内容の画面を切り替えます。

記録保存(SD)

「実行」を選択すると、本体に記録された検出結果を microSD カードに保存します。

- ・保存する際は、あらかじめ本体に microSD カードを取り付けてください。( P.33)

- ・最大 200 件までの検出結果を 1 つのファイルとして、100 ファイルまで保存できます。(保存ファイル名:「mst1b100m.m1d」～「mst1b199m.m1d」)
- ・100 ファイルを超えた場合、最後に保存したファイル(mst1b199m.m1d)に上書きされます。
- ・保存したファイルは、MST-1 データ管理ソフトをインストールしたパソコンで確認することができます。(P.33)

記録消去 (本体)

「実行」を選択すると、本体に記録された検出結果を消去します。消去すると、元には戻せませんのでご注意ください。

最低球速設定

速度表示の最低値を設定することができます。30 ～ 80km/h の範囲から 1km/h 単位で設定できます。(初期値:30km/h)

- ・  (上下ボタン) を押して速度値を選択し、 (セットボタン) を押して決定します。
- ・捕手から投手への返球(速度の遅い投球)などを表示させたくないときに有効です。

斜め方向補正

本体の角度補正を行うことができます。本体の設置位置(角度)によって、検出結果の値に大きな誤差があると思われる場合にご利用ください。(角度による速度検出の影響については P.10 を参照ください)

0 ～ 20 度の範囲から 1 度単位で設定できます。(初期値:0 度)

※  (上下ボタン) を押して速度値を選択し、 (セットボタン) を押して決定します。

※1 度以上に設定した場合、液晶画面に  が表示されます。



バッティングモードの設定メニュー

- ・設定メニューの表示は  P.25 「設定メニューを表示・各種設定方法」を参照ください。

設定メニュー

ノーカウント

「実行」を選択すると、最新の検出結果を消去します。検出結果を記録したくない場合にご使用ください。

1 回 / 連続

検出方法を選択することができます。(初期値：連続)

1 回	スタート/ストップを押し(検出開始)、1 回の速度表示を行って検出を終了します。
連続	スタート/ストップを押し(検出開始)、再度、スタート/ストップボタンを押すまで、速度検出を行います。

最高値表示(本体)

本体に記録されているバットスイング速度(バット)、打球の初速度(打球)、推定飛距離(飛距離)の最高値を表示します。

平均値表示(本体)

本体に記録されているバットスイング速度(バット)、打球の初速度(打球)、推定飛距離(飛距離)の平均値を表示します。

記録表示(本体)

本体に記録されている検出結果を記録ナンバーとともに表示します。

- ・  (上下ボタン)を押して、記録内容の画面を切り替えます。

記録保存(SD)

「実行」を選択すると、本体に記録された検出結果を microSD カードに保存します。

- ・保存する際は、あらかじめ本体に microSD カードを取り付けてください。(P.33)
- ・最大 200 件までの検出結果を 1 つのファイルとして、100 ファイルまで保存できます。(保存ファイル名:「mst1b200m.m1d」～「mst1b299m.m1d」)
- ・100 ファイルを超えた場合、最後に保存したファイル(mst1b299m.m1d)に上書きされます。
- ・保存したファイルは、MST-1 データ管理ソフトをインストールしたパソコンで確認することができます。(P.33)

記録消去 (本体)

「実行」を選択すると、本体に記録された検出結果を消去します。消去すると、元には戻せませんのでご注意ください。

最低球速設定

打球速度表示の最低値を設定することができます。30 ～ 80km/h の範囲から 1km/h 単位で設定できます。(初期値: 30km/h)

- ・  (上下ボタン) を押して速度値を選択し、 (セットボタン) を押して決定します。

斜め方向補正

本体の角度補正を行うことができます。本体の設置位置(角度)によって、検出結果の値に大きな誤差があると思われる場合にご利用ください。(角度による速度検出の影響については P.10 を参照ください)

0 ～ 20 度の範囲から 1 度単位で設定できます。(初期値: 0 度)

- ・  (上下ボタン) を押して速度値を選択し、 (セットボタン) を押して決定します。
- ・1 度以上に設定した場合、液晶画面に  が表示されます。



システム設定メニュー

結果表示の時間や初期設定など、すべての検出モードにおいて共通の設定を行うことができます。

- ・液晶の画面を見ながら、ボタン操作で行います。
- ・前の手順に戻る場合は、 (左ボタン) を押してください。

設定項目	設定内容
オートパワーオフ時間	検出していない状態や本体ボタン操作が行われないと、自動で電源が切れる時間 0 ～ 60 分の範囲から 1 分単位で設定することができます。(初期値：20 分) ※「0 分」に設定した場合や AC アダプターを使用しているときは、オートパワーオフが無効になります。
点滅時間	ピッチング/バッティングの検出結果表示(点滅時間)を 0 ～ 10 秒の範囲から 1 秒単位で設定することができます。(初期値：3) ※0 秒に設定すると、点滅しません。
コントラスト	液晶表示の濃さを「うすい」「ややうすい」「ふつう」「やや濃い」「濃い」から選択することができます。(初期値：ふつう)
初期化	「実行」を選択すると、すべての設定をお買い上げ時の設定に戻します。
システム情報	ソフトウェアのバージョンを表示します。

1. システム設定メニューを表示・各種設定方法

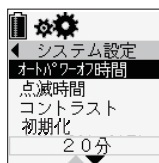
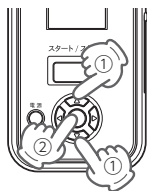
例：オートパワーオフ時間を「30 分」に設定する場合

1-1 システム設定を表示する

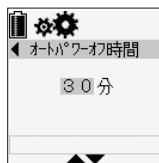
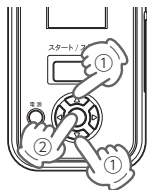
☛ P.19「検出モードの選択」を参照ください。

・前の手順に戻る場合は
⏮ (左ボタン) を押してください。

1-2 ⏮ ⏭ (上下ボタン) を押して「オートパワーオフ時間」を選択し、○ (セットボタン) を押す



1-3 ⏮ ⏭ (上下ボタン) を押して「30」に数字を切り替えし、○ (セットボタン) を押す



設定終了後、メインメニュー画面に戻る場合は、⏮ (左ボタン) を押してください。

記録結果の管理

市販品の microSD カードに保存した検出結果を、MST-1 データ管理ソフトをインストールしたパソコンで管理することができます。

- ・ microSD カードは、別途ご購入ください。
- ・ MST-1 データ管理ソフト（フリーウェア）やご利用方法などの詳細は、弊社ホームページをご確認ください。
<https://www.yupiteru.co.jp>

1. microSD カードの使用について

- ・ 本機は、市販品の microSD カードに対応しています。
- ・ microSD カードを取り付け（取り外し）するときは、本体の電源 OFF してから行ってください。
- ・ microSD カードは本機専用でお使いください。
- ・ 本機と microSD カードとの相性による不具合については保証いたしかねます。

2. microSD カードの装着 / 取り外し

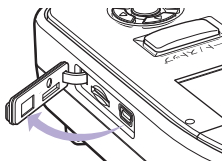
注意

- ・ microSD カードにアクセス中（データ読み込み / 保存中など）は、本体から microSD カードを取り外さないでください。故障の原因となります。
- ・ microSD カードは一方向にしか入りません。無理に押し込むと、本体や microSD カードが壊れることがあります。

カスタマイズ
して使う

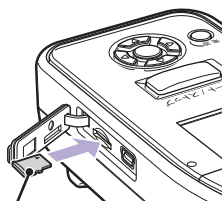
2-1

電源 OFF であることを確認して、右側面のカバーを開ける



2-2

microSD カードを挿入する

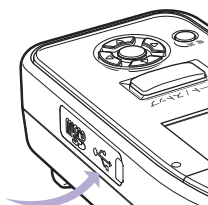


microSD
カード

microSD カード挿入口に「カチッ」と音がするまで押し込んでください。

2-3

カバーを閉じる



カバーを元どおりに閉めます。

※カバーをしっかりと閉じ、隙間や浮きがないことを確認してください。

※取り外しは、逆の手順で行ってください。

故障かな？と思ったら

修理をご依頼になる前に、もう一度次のことをご確認ください。

電源 ON しない

- ☐ 単 3 形アルカリ乾電池が消耗していませんか。
バッテリー残量表示を確認し、「少ない」場合は、新しい電池と交換してください。(●P.14)
- ☐ 単 3 形アルカリ乾電池が正しく入っていますか。

ボールの初速度、終速度が表示されない

- ☐ 投手または捕手から本体の距離は 30m 以内ですか。
- ☐ 本体は投手または捕手の影になる場所に設置されていませんか。

バットスイング速度、打球の初速度が表示されない

- ☐ 打者から本体の距離は 5m 以内ですか。
- ☐ 本体は投手または捕手の影になる場所に設置されていませんか。

検出結果の数値にばらつきがある

- ☐ 安定した検出のために、机などの台やカメラ三脚を使用した設置をお勧めします。(●P.10)

操作ができなくなった (フリーズして操作ができなくなった)

- ☐ 本体から一度電池を抜き、正しくセットした後にもう一度電源 ON してください。(●P.14)

仕 様

■ マイクロ波センサー

適合技術基準	特定小電力無線局 移動体検知センサー用無線設備
センサータイプ	ドップラーセンサー
周波数	K バンド 24GHz 帯
送信出力	2.5mW 以下

■ 表示＜対象物と結果表示＞

対象物	検知・表示範囲	分解能
ボール速度	30 ～ 200km/h 32 ～ 213km/h ※1	1km/h
バットスイング 速度	50 ～ 200km/h 53 ～ 213km/h ※1	1km/h

※1 斜め角度補正を最大値の 20 度に設定した場合。

■ 表示＜検知距離（目安）＞

ボール (野球軟式球)	約 30m
バット (金属バット)	約 5m

■ 電源

電源電圧	6V(単 3 形アルカリ乾電池 4 本使用)
電池寿命	1 日 1 時間の使用で約 20 日 (連続使用で約 20 時間)
外部電源	DC5V 出力 (AC アダプター : AC100V)

■ その他

動作温度範囲	-5℃～ 50℃
外形寸法	83(W) × 180 (D) × 64 (H) mm(突起物含まず)
重量	約 379g (電池含む)
保護構造	IP53 (防塵・防雨形) 準拠

※この説明書に記載されている各種名称・会社名・商品名などは各社の商標または登録商標です。なお、本文中ではTM、® マークは明記していません。

取扱説明書は随時更新されます。最新版の取扱説明書は弊社ホームページにてご確認ください。

<https://www.yupiteru.co.jp/>

アフターサービス

●保証書(裏表紙参照)

保証書は、必ず「販売店・お買い上げ年月日」をご確認のうえ、保証内容をよくお読みになって、大切に保管してください。

●保証期間

お買い上げの日から1年間です。

●対象部分機器

本体(消耗部品は除く)

●修理をご依頼されるとき

「故障かな?と思ったら」で確認しても、なお異常があると思われるときは、機種名(品番)、氏名、住所、電話番号、購入年月日、保証書の有無と故障状況をご連絡ください。ご転居ご贈答品等で本保証書に記入してあるお買い上げの販売店に修理をご依頼できない場合には、お客様ご相談センターへご相談ください。

○保証期間中のとき

保証書の「故障内容記入欄」にご記入いただき、お買い上げの販売店まで、保証書とともに、機器本体をご持参ください。

保証書の内容に従って修理いたします。

○保証期間が過ぎているとき

まず、お買い上げの販売店にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理いたします。

※点検や修理の際、履歴や登録したデータが消去される場合があります。

※修理期間中の代替機の貸し出しは行っておりません。あらかじめご了承ください。

ユピテルご相談窓口

お問い合わせの際は、使用環境、症状を詳しくご確認のうえ、お問い合わせください。

- 下記窓口の名称、電話番号、受付時間は、都合により変更することがありますのでご了承ください。
- 電話をおかけになる際は、番号をお確かめのうえ、おかけ間違いのないようご注意ください。
- 紛失等による付属品の追加購入や別売品の購入につきましては、お買い上げの販売店にご注文ください。

故障相談や取扱方法などに関するお問い合わせ

受付時間 9:00~17:00 月曜日~金曜日
(年末年始等、当社指定期間を除く)

お客様ご相談センター  0120-998-036

This image shows a single sheet of white paper with horizontal ruling lines. The lines are evenly spaced and run across the width of the page. There are no margins, text, or other markings on the paper.